

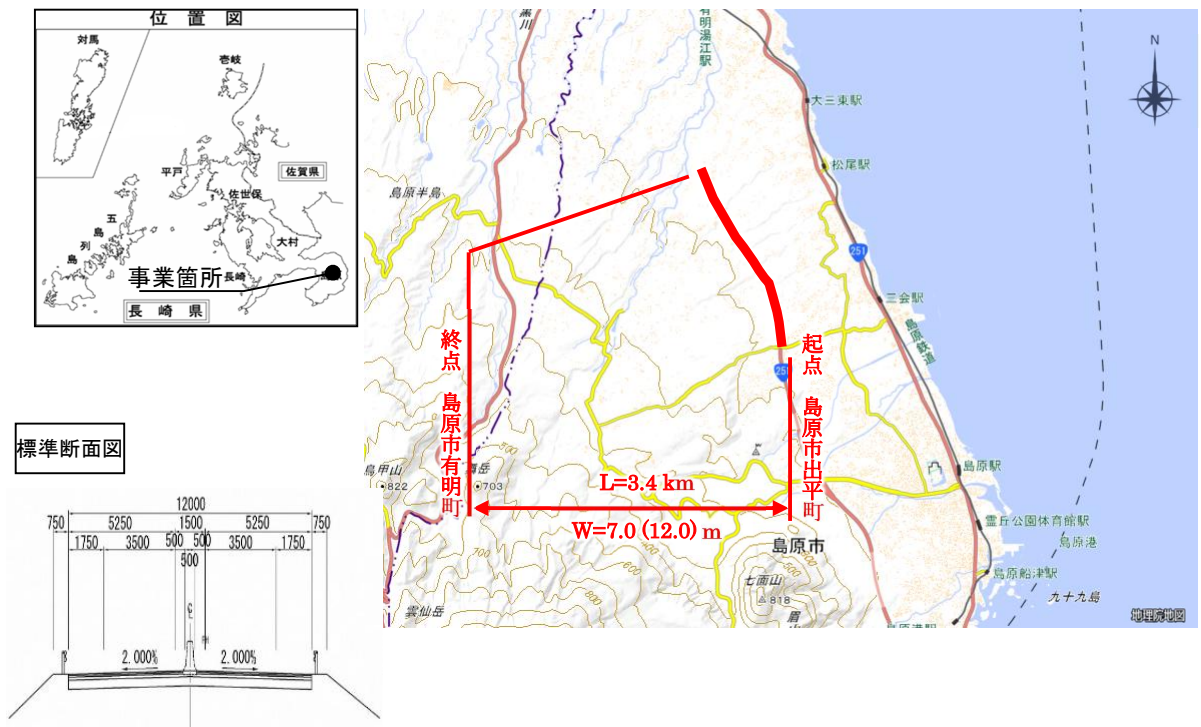
再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課

担当課長名: 西川 昌宏

事業名	地域高規格道路 <small>しまばら</small> 島原道路 一般国道251号 <small>いでひらありあけ</small> 出平有明バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自: <small>しまばら</small> 長崎県島原市出平町 至: <small>しまばら</small> 長崎県島原市有明町			延長	3.4km
事業概要					
島原道路の一部として広域ネットワークを形成し、島原半島地域から空港、新幹線等へのアクセス向上や緊急医療体制の強化支援、長崎・県央地域との地域連携強化を目的とし長崎県島原市出平町から長崎県島原市有明町までの延長3.4kmを整備するものである。					
H25年度事業化		都市計画決定 なし		H28年度用地着手	
H28年度工事着手					
全体事業費	約168億円	事業進捗率	約88%	供用済延長	—
計画交通量	12,700台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (事業全体)	総便益 (事業全体)	基準年
	1.6	6.5 %	16 / 184億円	288 / 288億円	令和7年
	2.4 [2%]		事業費: 15/183億円	走行時間短縮便益: 231/ 231億円	
	3.2 [1%]		維持管理費: 0.8/0.8億円	走行経費減少便益: 40/ 40億円	
	(残事業)	(残事業)	(事業全体)	(残事業)	
18.0	91.5 %	感度分析	感度分析		
36.0 [2%]		交通量	交通量		
76.3 [1%]		事業費	事業費		
		事業期間	事業期間		
事業の効果等 ・広域交通拠点への所要時間短縮や高速定時制により、島原半島の産業活動活性化 ・幹線道路の代替路の確保、緊急輸送道路の機能強化					
関係する地方公共団体等の意見 「島原半島幹線道路網建設促進期成会」「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」より早期整備を要望されている。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 「島原道路」の一部である長野～栗面工区が令和4年5月21日、森山拡幅(森山東～森山西)が令和5年11月12日に開通している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率約88%、用地進捗率100%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収が完了しており、今後は早期完了を目指し、改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※総費、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)